



伊藤労働局長が 江南監督署長、犬山安定所長と共に 地域のリーダーを訪問

令和2年12月17日、伊藤労働局長が江南労働基準監督署長、犬山公共職業安定所長と共に、江南監督署・犬山安定所管内（尾北地域）最大規模の事業場である株式会社東海理化 本社・本社工場（丹羽郡大口町）を訪問し、同社代表取締役社長二之夕（にのゆ）氏他と面談、

- ①コロナ禍、CASE等の経営環境変化に対応したビジョン、生産活動、雇用・労働面にもたらす影響
- ②女性活躍、テレワーク他働き方改革の推進
- ③高齢者雇用、障害者雇用、新卒採用
- ④労働災害防止（職場内新型コロナウイルス感染防止対策を含む）

などについて意見交換を行い、その後工場内を視察し、現場担当者よりリスクアセスメントの実施状況や課題等の説明を受けました。



奥村安定所長 伊藤労働局長 二之夕社長 平井監督署長
(東海理化)



澤田江南市長 伊藤労働局長

また、同日、伊藤労働局長は同監督署長、安定所長と共に、江南市役所を訪問し、澤田江南市長他と面談、

- ①地域特性を活かした企業立地促進、雇用機会創出等のビジョン、これに伴う人材確保・養成等に関わる労働行政への期待
 - ②障害者雇用
 - ③労働災害防止に係る連携
- などについて意見交換を行い、その後市役所内の「江南ワーキングステーション」を視察しました。

